

日常生活における「規制」と「自由」 [社会学]

開講単位： 4単位 担当者： 服部 慶巨

学習目標

日常生活ある様々な「規制」 - それが我々の行動を制限するだけの存在ではなく、我々の社会生活を守る側面もあるという現実を概観する。

授業方法

教科書・参考書・プリント・板書を用い、受講生自身も陥りがちな問題点を講義する。昨年は「韓流ブーム」を例に講義を展開し、比較的好評価を得た。そこで今年は、担当者が韓国で行っているデータ蒐集の結果なども例示する。

授業計画〔各90分〕

1回目	講義目的・目標などの確認	14回目	情報の循環過程と規制
2回目	社会(科)学を学ぶために	15回目	情報の循環過程と規制
3回目	社会とは何か?	16回目	情報の循環過程と規制
4回目	社会とは何か?	17回目	情報の循環過程と規制
5回目	社会とは何か?	18回目	韓流と日韓関係の裏側
6回目	規制とは何か?	19回目	韓流と日韓関係の裏側
7回目	規制とは何か?	20回目	韓流と日韓関係の裏側
8回目	日常の中の規制 人間	21回目	韓流と日韓関係の裏側
9回目	日常の中の規制 地位	22回目	韓流と日韓関係の裏側
10回目	日常の中の規制 役割	23回目	現代社会の問題点
11回目	日常の中の規制 文化	24回目	現代社会の問題点
12回目	日常の中の規制 同一視	25回目	まとめ
13回目	日常の中の規制 放送		

別途、ガイダンス及び試験を実施する週を設け、全30回以上を目安とする。

教科書

『人間生活の理論と構造』 夏刈 康男(ほか)著 学文社

参考書

『補強版ストレス・スパイラル』 服部 慶巨著 人間の科学社

成績評価基準

終講試験(70%), 受講態度(20%), 小レポート(10%)で評価する。